

2024 年度 児童クラブルンビニーにおける自己点検・自己評価

2025 年 5 月 15 日

※今年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画に生かせる方向で記入してください。

[記入方法]

- 今年度よりスマホ・PC から Google Form にて集計します。
- ☆の 5 段階評価です。
- 項目ごとに、意見・改善策があれば記述してください。

☆☆☆☆☆	たいへんよい
☆☆☆☆	よい
☆☆☆	普通
☆☆	一部検討を要する
☆	改善を要する

項目	内容	評価					意見・改善策
		☆5	☆4	☆3	☆2	☆1	
趣旨	「放課後児童クラブ運営指針」の趣旨を理解している。	0	2	0	1	0	○問題がある児童は、職員と話し合って目を離さないように、注意しています。 ○運営指針について、今年改定があった為、全てを理解しきれていない ○研修館は、密に連絡を取り合っているが、小学校は保護者メール等で知ることが多いため、密な連携とまではないかない ○保護者からの細かな要望を、職員全体へ共有できていなかった →令和7年度から日誌に保護者連絡欄を設け、問題の改善をはかる ○日々の子どもの発達過程の理解や共有についてうまく日誌を活用できていない →令和7年度から日誌の枠も大きくしたことで、より細かい事例もかけるようになった
役割	放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の役割を理解している。	1	2	0	0	0	
放課後児童支援の基本	放課後児童クラブにおける育成支援の目的を理解している。	1	2	0	0	0	
	保護者や学校等の関係機関と連携している。	0	2	1	0	0	
	放課後児童支援員及び補助員は、その役割を理解している。	1	2	0	0	0	
	放課後児童クラブの社会的責任を理解している。	1	2	0	0	0	
社会的責任と職場倫理	放課後児童クラブは社会的信頼を得て育成支援に取り組む、仕事を進める上での倫理を自覚し、育成支援の内容の向上に努めている。	1	2	0	0	0	
	放課後児童クラブの運営主体は法令を遵守するとともに、すべての放課後児童支援員等が職場倫理を自覚して職務に当たるよう組織的に取り組んでいる。	0	3	0	0	0	
要望及び苦情への対応	子ども及び保護者からの要望や苦情に、迅速に対応する仕組みを整えて対応している。	1	1	0	1	0	

項目		内容	評価					意見・改善策
			☆5	☆4	☆3	☆2	☆1	
運営指針第3章、第5章、第6章に対応する項目	事業内容組み上げ	放課後児童支援員等は、事業内容の向上を目指す職員集団を形成するとともに、事業内容を向上させるように努めている。	0	3	0	0	0	○外遊びの時、自分で転んでかすり傷(ひざ、うで)をする子がいます。 下がコンクリートで滑りやすいので注意するように言ってします。 ○個人LINEや公式LINEを使い保護者間の情報共有は問題なかった ○保護者との信頼関係について、各保護者に寄り添った発言ができず、クレームに発展した→職員間の共有や上層部への対応相談を密に行う ○学校との連携について、毎年先生の移動が多かったが、教頭先生がこちらの相談に親身に対応して頂いたため、大きなトラブルはなかった ○感染症について、諫早市の感染症対策ガイドラインのお陰で、明確な対応ができた
		放課後児童クラブの運営主体は、放課後児童支援員等の研修機会の確保や参加できる環境を整えている。	2	1	0	0	0	
	子ども発達の理解	放課後児童クラブの運営主体は、子どもや保護者の意見を取り入れて自己評価を行い、その結果を公表し、事業内容の向上に生かしている。	1	2	0	0	0	
		放課後児童支援員等は、子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、育成支援を行っている。	0	2	0	1	0	
	育成支援の内容	育成支援の内容について理解している。	1	2	0	0	0	
		育成支援の留意点を理解し、支援を行っている。	0	2	1	0	0	
	障害のある子どもへの対応	障害のある子どもの受入れの考え方を理解し、可能な限り受入れに努めている。	0	3	0	0	0	
		障害のある子どもの育成支援に当たっての留意点を理解し、育成支援を行っている。	0	3	0	0	0	
	特に配慮を必要とする子どもへの対応	児童虐待の早期発見の努力義務があることを理解し、保護者の不適切な養育や児童虐待が疑われる場合には、関係機関と連携し、適切に対応している。	0	2	1	0	0	
		家庭での養育について特別な支援が必要な子どもには、関係機関と連携して適切に支援を行っている。	0	2	1	0	0	
		特に配慮を必要とする子どもへの対応に当たっては、プライバシーの保護や秘密保持に留意している。	1	2	0	0	0	
	保護者との連携	各種連絡手段を活用して、子どもの出欠席、遊びや生活の様子について保護者と情報を共有している。	2	1	0	0	0	
		保護者と信頼関係を築き、相談に適切に対応している。	0	2	0	0	1	
		保護者との協力関係を構築するとともに、保護者組織と連携している。	0	2	1	0	0	
	営務含育成業務に関わる運営	育成支援に係る職務を実施している。	0	2	1	0	0	
		運営に関わる業務を実施している。	1	1	1	0	0	
	学校との連携	情報交換や情報共有、学校施設の利用等、学校との連携を図っている。	1	2	0	0	0	
		学校との連携にあたって、個人情報や秘密保持について予め取り決めている。	0	2	1	0	0	
	保育所、幼稚園等との連携	情報交換や情報共有等、保育所・幼稚園等との連携を図っている。	3	0	0	0	0	

項目		内容	評価					意見・改善策
			☆5	☆4	☆3	☆2	☆1	
運営指針第4章、第6章1に対応する項目	地域・関係機関との連携	地域組織や子どもに関わる関係機関等との連携を図っている。	0	1	2	0	0	○職員体制や運営方針については、適正だとおもう
		学校施設や児童館を活用して放課後児童クラブを実施する上での留意事項を理解し、適切に対応している。	0	2	1	0	0	
	衛生管理及び安全対策	日常の衛生管理を適切に行うとともに、感染症の発生時における対応方針を予め定めている	1	2	0	0	0	
		事故やケガを防止するための対策を講じるとともに、事故やケガの発生時における対応方針を予め定めている。	0	3	0	0	0	
		防災や防犯に備えた対策・訓練等を日ごろから行っており、災害等の発生時における対応方針を予め定めている。	0	3	0	0	0	
		関係者と連携して、来所及び帰宅時の子どもの安全を確保している。	1	1	1	0	0	
	施設及び設備	放課後児童クラブとして求められる機能を備えた施設（専用区画）を有している。	1	2	0	0	0	
		放課後児童クラブとして求められる機能を満たすための設備や備品等を有している。	1	2	0	0	0	
	職員体制	支援の単位ごとに2人以上の放課後児童支援員等を置いている。	3	0	0	0	0	
		支援の単位ごとに育成支援を行っている。	2	1	0	0	0	
		放課後児童支援員を長期的に安定した形態で雇用している。	2	1	0	0	0	
		放課後児童支援員等の勤務時間を、開所時間の前後に必要な時間を前提として設定している。	2	1	0	0	0	
	規模（子ども集団の単位）	適切な子ども数の規模の範囲（おおむね40人以下）で運営している。	3	0	0	0	0	
	開所時間及び開所日	開所時間及び開所日を適切に設定している。	3	0	0	0	0	
	利用開始や退所に関する留意事項	利用開始や退所に関わる留意事項を理解し、適切に対応している。	2	1	0	0	0	
	規模（子ども集団の単位）	適切な子ども数の規模の範囲（おおむね40人以下）で運営している。	3	0	0	0	0	
	開所時間及び開所日	開所時間及び開所日を適切に設定している。	3	0	0	0	0	

項目		内容	評価					意見・改善策
			☆5	☆4	☆3	☆2	☆1	
運営指針第4章、第6章1に対応する項目	子ども集団の規模（支援の単位）	適切な子ども数の規模の範囲（おおむね40人以下）で運営している。	3	0	0	0	0	
	開所時間及び開所日	開所時間及び開所日を適切に設定している。	3	0	0	0	0	
	利用開始等に関わる留意事項	利用開始や退所に関わる留意事項を理解し、適切に対応している。	2	1	0	0	0	
	運営主体	安定した経営基盤と運営体制を有し、子どもの健全育成や地域の実情についての理解を十分に有する主体が、放課後児童クラブを運営している。	2	1	0	0	0	
		放課後児童クラブの運営主体は、設備運営基準に定められた運営上の留意事項を理解し、運営している。	3	0	0	0	0	
	労働環境整備	放課後児童クラブの運営主体は、放課後児童支援員等の労働環境を適切に整備している。	2	1	0	0	0	
	適正な会計情報公開	放課後児童クラブの運営主体は、適正な会計管理を行っている。	3	0	0	0	0	
		放課後児童クラブの運営主体は、会計処理や運営状況について情報公開している。	1	2	0	0	0	